

英語指導力向上事業

趣旨

中・高等学校における生徒の英語力・コミュニケーション能力を確実に養い、グローバル化等に対応した人材の育成を推進するため、外部専門機関と連携した効果的な研修等を通して、小・中・高等学校教員の指導力及び英語力の向上を図る。

現状と課題

【現状】

（本県の状況）

- 生徒の英語力が国の目標値に達していない。
- 学習指導要領に則した取組にやや遅れがある。

（国の動向）

- 学習指導要領の全面实施（H25から）
 - ・授業は英語で行うことを基本
 - ・コミュニケーション能力を養う
- 新たな英語教育への対応
 - ・言語活動の高度化
 - ⇒「グローバル化に対応した英語教育改革実施計画」（H25.12.13）
- 求められる英語力の明文化
 - ⇒「第2期教育振興基本計画」（H25.6.14）
- 都道府県別の英語教員の英語力の公表
 - ⇒「英語教育の在り方に関する有識者会議」（H26.6.18）

【課題】

- 求められる英語力を有する生徒の割合を高める必要がある。
- 学習指導要領の趣旨に沿った授業を工夫・改善する必要がある。
- グローバル化に対応できる人材の育成のため、英語教員の指導力向上が急務。
- 求められる英語力を有する中高校の英語教員の割合を高める必要がある。
 - 高（目標値75%、現在55.4%）
 - 中（目標値50%、現状30.9%）
- ※求められる英語力：英検準1級、TOEFL(iBT)80点、TOEIC730点程度以上

概要

文部科学省「外部専門機関と連携した英語指導力向上事業（継続）」に申請（国庫10/10）計画的な研修の実施

事業内容

文部科学省「外部専門機関と連携した英語担当教員の指導力向上事業」に申請・実施（国庫10/10）

(1)①【中学校・高校】

英語担当教員指導力向上研修（5日間の集中研修）
（中学校50名、高校50名 計100名）
大分大学・APU等の教授、プリティシカカウンセラー講師等によるワークショップを中心とした研修

②【小学校】

小学校英語教育推進研修（3日間の集中研修 53名）

③【小・中・高校】

英語授業改善研修 150名程度
大学教授による講義、小中高合同のワークショップ等

(2)英語教育推進リーダーの研修講師としての活用

・還流研修の実施（上記①②の研修講師）

(3)研修協力校における指導方法の改善を推進

・運営指導委員会の開催
・授業改善を推進（校内指導体制の確立、授業公開及び授業研究の実施）

事業効果

【中高】

- 授業における教員の英語使用状況の改善
- 生徒の英語による言語活動時間の改善
- 求められる英語力を有する英語担当教員の割合の向上
- 求められる英語力を有する生徒の割合の向上
- CAN-DOリストの活用による授業におけるPDCAサイクルの確立・達成状況の把握（中・高）

○パフォーマンステストの実施状況の改善

【小】

- 教室英語の使用状況改善